

お祭りGO!

夏・秋
特集
2025年
7月～11月

小金井市の代表的なお祭りをご紹介します!



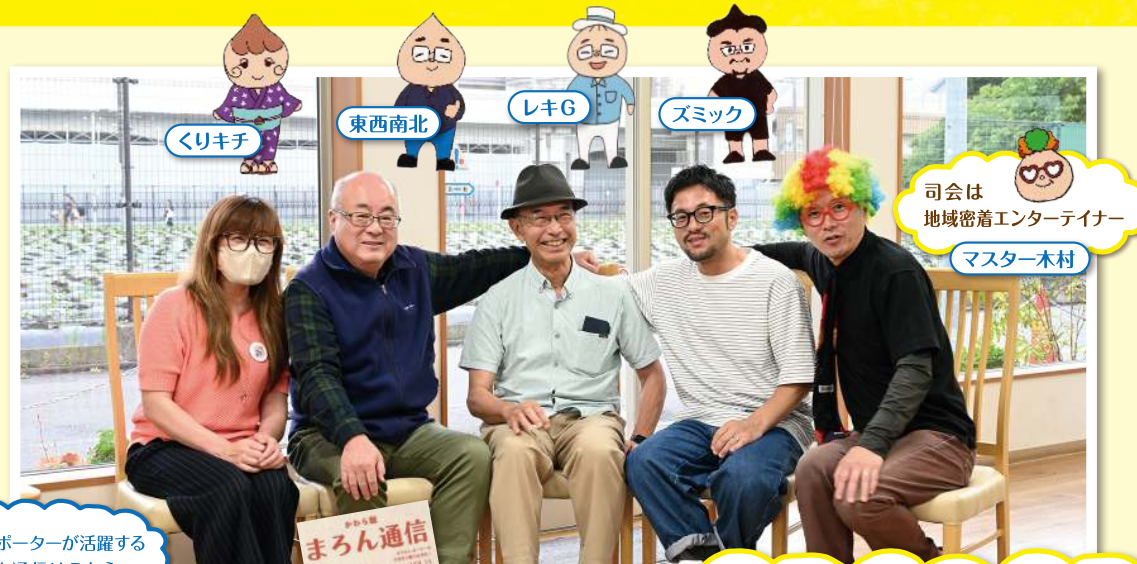
エラヤッチャ
エラヤッチャ

ヤットサー
ヤットサー

ヨイヨイ
ヨイヨイ!

大人も子どもも、ワッショイワッショイ!
家族、友達、カップルに、ご近所さんも、
みんな一緒にお祭りへGO!

キン・シオタニ画



まろんレポーターが活躍する
まろん通信はこちら



定期刊行フリーペーパー &
webサイト

日々、小金井市のおもしろさを伝えている、
まろんレポーターのみなさんに、
お祭りについて語り合ってもらいました!

小金井お祭り座談会

by まろんレポーター

小金井で特に印象に残っている
お祭りを教えてください。

僕がいちばん驚いたのは「ヒガ
コ・サマーフェスティバル」です。昔
は、会場の日本歯科大学グラウンド
で花火を盛大に打ち上げていて。今は、
花火はなくなっちゃいましたが、ス
テージも含め、お祭りにかけるエネル
ギーがすごいので、応援しています。

昔の話で言うと、神社や商工会
のお祭りは櫓を建てて盆踊りをやっ
たり、ロデオマシンがあったり、サンバ
を呼んだり、とにかくエネルギーが
すごかった。特に印象に残るお祭りは、
どれかひとつには絞れないけれど、「貫
井坂下納涼盆踊り大会」は、昔ながら
のお祭りの感じがいいですね。

新小金井は普段は静かな街です
が、お祭りになると「こんなに人がい
る町なのか」って、感動を覚えます。
最近のプロレスなんかあって。

実は僕が企画にも関わらせて
もらっていて、去年の「(新小金井西
口商店会) 元祖モーレッツハロウィン」
は商店街の安全管理を地元のプロレ
スラーの人に頼んだら、上半身裸で
ノリノリやってくれました(笑)。

やっぱり「小金井阿波おどり」
は盛り上がりますね。昔、中央線が高
架になる前は、南北が分断されていて、
ほとんど行き来がありませんでしたが
高架になってから、北口と南口が一
緒にやれるようになりましたね。

南口まで阿波おどりが来た時
はすごいセンセーショナルでしたよ
ね。別世界に来たような感じ。

小金井はどうしてそんなに街
のお祭りが盛り上がるんでしょうね。

小金井は小さな町なので、予
算もない、人も少ない中、「でも楽し
もうじゃないか!」という、お祭り
の原点みたいなものが生きているの
かも。自分たちの手でどれだけ楽し
めるかみたいところが素晴らしい
ですね。



1 梶野町道草市 7/6(日) P11

2 小金井阿波おどり 7/26(土)・27(日) P4

3 ちびっこ夏祭り 7/26(土)・27(日) P7

4 夜間特別開園
たてもの園下町夕涼み 8/2(土)・3(日) P10

5 ヒガコ・サマーフェスティバル 8/8(金)・9(土) P5

6 貫井坂下納涼盆踊り大会 8/9(土)・10(日) P8

7 夏休み木工チャレンジ 8/25(月)～30(土) P11
(作品展示・表彰式)

8 エコサマーフェスティバル 8/30(土) P6

9 はけのおいしい朝市 9/7(日) P11

10 貫井神社例大祭 9/13(土)・14(日) P8

11 市杵島神社秋季大祭 9/13(土)・14(日) P9

12 青少年のための科学の祭典 9/21(日) P11
東京大会 in 小金井

13 小金井新能 9/23(火・祝) P9

14 小金井神社例大祭 9/27(土)・28(日) P9

15 前原盆踊り大会 10/4(土) P9

16 貫井道草市 10/4(土) P11

17 ナンジャモンジャ祭り 10/5(日) P7

18 新小金井西口商店会
元祖モーレツハロウィン 10/25(土) P7

19 蛇の目通り商店会のお祭り 10/26(日) P7

20 梶野公園まつり 10/26(日) P7

21 黄金井六地藏ハロウィン子ども祭り 10月下旬 P7

22 わくわく農園感謝祭 11/2(日) P6

23 こがねい産業祭り 11/8(土)・9(日) P6

24 夜間特別開園
紅葉とたてもののライトアップ 11/22(土)・23(日) P10

25 梶野町道草市 11/30(日) P11



お祭りGO!

夏・秋
特集

小金井市民は
実はかなりのお祭り好きって知ってました!?
探してみると大小さまざまなお祭りが、
市内各地で開催されているのです!
行きそびれないよう、代表的なお祭りを紹介する
ガイドブックを作りました!
大人も子ども、ワッショイワッショイ!
家族、友達、カップルに、ご近所さんも、
みんなまとめてお祭りへGO!

目次

イベントカレンダー P2

東西で盛大に!
小金井2大夏祭り! P4

地元が主役!
お祭り&イベント P6

小金井に伝わる
伝統のお祭り P8

親子で楽しむ
学び&イベント P10

小金井お祭り座談会 P12

表紙: キン・シオタニ

1969年生まれ、小金井市出身。小金井市観光大使。
本名、塩谷均。英国人の詩人、クリス・モズデルに師事。
「長い題名シリーズ」ポストカードで注目され、テレビ、
雑誌、教科書の表紙や書店のブックカバーなど多くの
メディアで活躍。近年はパフォーマンスライブを国内外で
開催している他、tvkの旅番組「キンシオ」は約12年
にわたり放送され、現在も再放送中。
2025年8月2日(土)に、小金井 宮地
楽器ホールにて「こがねいさんぽライ
ブ」を開催予定。



お祭りの名称や内容は過去の開催情報などをもとに記載しています。
また、開催日・開催内容等の情報は予定です。
変更となる場合がありますので、ご了承ください。

◀ それぞれのお祭り・イベントの詳細はこちらから



2025年開催日：8月8日(金)、9日(土)
開催場所：日本歯科大学グラウンド
主催：東小金井南口商店会



55年以上の歴史を誇るこのお祭りは、東小金井駅前にある日本歯科大学の広いグラウンドに、大きな櫓を組んで行われます。みどころは、多彩なステージイベント。初開催から続く「一心会」による盆踊り太鼓のほか、「武蔵乃桜太鼓」、サンバやバンド演奏、ダンス、マジックショーなど、子どもから大人まで楽しめるプログラムが目白押しです。注目は、「ちびっこ浴衣コレクション」。浴衣姿の子どもたち

が舞台に登場し、会場を盛り上げます。また、東小金井南口商店会の有志による、屋台フードも楽しみのひとつ。商店会の加盟店舗数が約130店と地元屈指の規模を誇る「ヒガコミナミ」の熱気が伝わります。

会場ではレジャーシートを敷くこともできるので、お子様連れでも安心です。

もともとは地元の盆踊りとしてスタートしたこのお祭り。「若い世代も巻き込みながら、商店街を元気づけたい」という思いから、毎年新しい挑戦をしながら進化しています。

ヒガコ・サマーフェスティバル

5

東西で盛大に!

小金井2大夏祭り!

みんなで踊って、夏の暑さを吹き飛ばせ!!



2025年開催日：7月26日(土)、27日(日)
開催場所：武蔵小金井北口駅前広場 / 武蔵小金井南口駅前広場 / 小金井街道
主催：小金井阿波おどり振興協議会



今年で47回を迎える小金井阿波おどり。阿波おどりに参加すると夏が始まったと思う市民は多いはず。武蔵小金井の駅周辺を約20もの踊り手の会「連」が、「ヤットサー、ヤットヤット!」の掛け声とともにテンポのいいお囃子に合わせて踊りながら練り歩きます。力強くダイナミックな男踊りと優雅なステップの女踊り。

小金井阿波おどり

2



「それは陽気で誰でも参加できる踊りが小金井の市民性にマッチしたのでは」と実行委員の方は言います。

「今年は昨年より開催時間を少し伸ばし、あえて町の灯りのみのなかで踊るというお祭り本来の演出を考えています」ということ。となれば、踊らにヤンソン!

「はじまりは、武蔵小金井駅前商店会が会場の問題で盆踊りができなくなってしまった際、協力を申し出てくれた徳島の方だそう。その後、周辺の商店会に広がり、武蔵小金井の一大イベントになりました。」

「今年で47回を迎える小金井阿波おどり。阿波おどりに参加すると夏が始まったと思う市民は多いはず。武蔵小金井の駅周辺を約20もの踊り手の会「連」が、「ヤットサー、ヤットヤット!」の掛け声とともにテンポのいいお囃子に合わせて踊りながら練り歩きます。力強くダイナミックな男踊りと優雅なステップの女踊り。」

ちびっこ夏祭り③

2025年開催日：7月26日(土)、27日(日)

開催場所：農工大通り商店街 太陽病院前

主催：小金井市農工大通り振興会

小金井阿波おどりと同じ日に農工大通りで開催。くじ引き、ヨーヨー釣り、金魚すくい、スイカ割りなどちびっこたちに大人気の夜店が並びます。特にスイカ割りは先着で人数に制限があるので、やりたい人は早めに受け付けを！かき氷や焼きそばもあります！



新小金井西口商店会 元祖モーレツハロウィン⑱

2025年開催日：10月25日(土)

開催場所：新小金井西口商店街エリア/新小金井駅西口駅前広場

主催：新小金井西口商店会

新小金井駅前広場を使って、キッズダンスや音楽ライブなど、地元民が盛り上がるステージが繰り広げられます。草プロレス nkw の興行もあり、謎の覆面レスラー「シン・小金井マスク」も登場。また仮装パレードに参加すると先着順でお菓子セットがもらえます。



梶野公園まつり⑳

2025年開催日：10月26日(日)

開催場所：梶野公園

主催：梶野公園まつり実行委員会

梶野公園はかまどベンチ、マンホールトイレ、災害用井戸など防災設備が整った公園。防災についての知識を深めつつ、いざという時の地域の連携を深め合うことを目的に2011年にスタートしたお祭り。ステージの他、飲食や販売のブースも防災色豊かです。



ナンジャモンジャ祭り⑰

2025年開催日：10月5日(日)

開催場所：BOOKOFF 武蔵小金井店・フレッシュネスバーガー武蔵小金井店駐車場

主催：ナンジャモンジャ・京王通り商店会

事前に商店会加盟店でスタンプを集めると商店会での食事券など豪華な景品が当たるスタンプラリーを開催。お祭り当日にステージで抽選会を行います。ステージの出し物のほか、こども縁日やふわふわドームなどもあり、地元ならではの祭りです。



蛇の目通り商店会のお祭り⑲

2025年開催日：10月26日(日)

開催場所：蛇の目通り

主催：蛇の目通り商店会

蛇の目通りの名は、かつてジャノメシンの工場があったことに由来。しばらくお休みしていたお祭りを2018年に復活しました！飲食店が多く、細長い商店会を活かしたイベントやステージ、ワークショップなど、みんなで楽しめるお祭りを開催予定です。



黄金井六地藏ハロウィン子ども祭り㉑

2025年開催日：10月下旬予定

開催場所：SOCOLA 武蔵小金井クロス1F クロスコート

主催：小金井市中央商店街協同組合

黄金井六地藏は、小金井市中央商店街の裏の、六地藏のそばにある井戸のこと。ハロウィンにその周辺をまわるスタンプラリーを行い、仮装をした子どもたちに練り歩いてもらおうという企画。参加のお子さんには先着順でお菓子セットをプレゼント。



地元が主役！

お祭り&イベント

商店会などのお祭りは、みんなが主役！
参加したら、みんな知り合いになれちゃう!?



2025年開催日：11月8日(土)、9日(日)

開催場所：JR武蔵小金井駅南口ロータリー歩道上・小金井 宮地楽器ホール・フェスティバルコート・SOCOLA 武蔵小金井クロス1F クロスコート

主催：こがねい産業祭り実行委員会

農業・商業・観光に携わる方々が力を合わせて、小金井の産業の魅力を市内外に発信することを目的として行われるお祭り。
市内飲食店のキッチンカーや露店が並び、イチオシ商品やサービスを紹介する事業者のブースも人気です。
市内の農産物を船の形に組み上げる宝船「こがねい丸」も登場。農産物品評会の表彰品の展示や野菜や植木の即売会もあります。二日目には宝船を解体。使われていた農産物の無料配布が人気です。
会場内をまわるスタンプラリーや、こども縁日もあり、親子で小金井の楽しさを満喫できます。

わくわく農園感謝祭㉒

2025年開催日：11月2日(日)

開催場所：わくわく都民農園小金井

主催：わくわく農園感謝祭実行委員会



けやきのまち振興会と、わくわく都民農園小金井などが開催する感謝祭。商店会の飲食店の出店やおいもほり体験、農産物の即売会、動物のふれあいコーナーなどがあり、畑でのんびり過ごせます。また、地域課題を保育・教育・福祉・商業・農業の力で解決しようという取り組み「みんな愛ネッ」の活動展示もあります。



写真は2023年開催時

2025年開催日：8月30日(土)

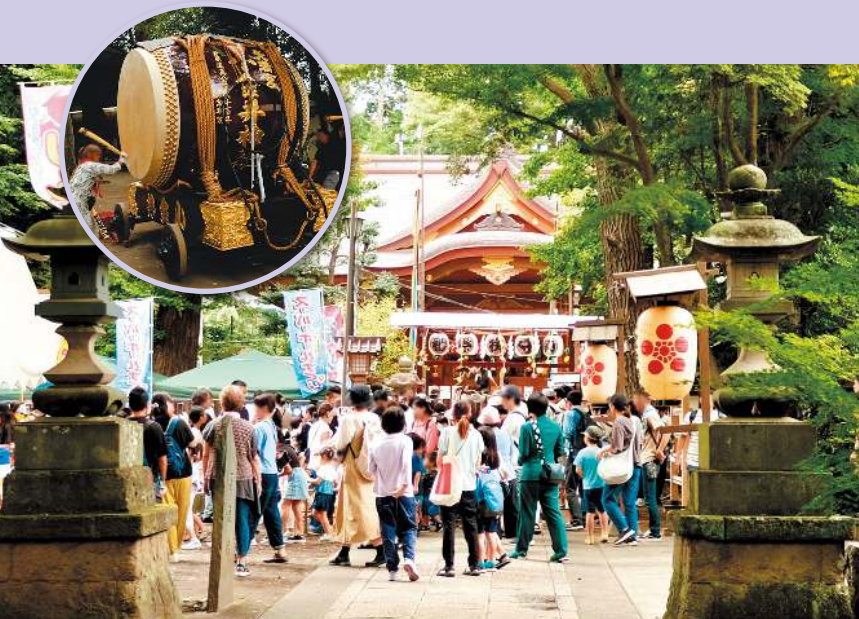
開催場所：梶野公園

主催：ヒガコ北口商店会

地域の環境意識の向上と持続可能な暮らしの推進を目指して2001年から始まったお祭り。会場にはゴミ箱がなく、参加者にゴミの持ち帰りを呼びかけ、リユース食器を貸し出すなど、ゴミの削減に取り組んでいます。ステージでは防災企画や子どもたちのパフォーマンスもあります。

こがねい産業祭り⑳

エコサマーフェスティバル㉓



小金井神社例大祭

14

2025年開催日：9月27日(土)、28日(日)
開催場所・主催：小金井神社

例大祭のみどころは、多摩地域の神社で3本の指に入るといいう大太鼓。直径約2メートルもの大太鼓の音は、心と体にズーンと響きます。子ども神輿を「もむ(IIワッショイする)」体験(HIPで事前予約)や小金井囃子の教室も大人気。

小金井に伝わる

伝統のお祭り

盆踊りに、神社のお祭り！
地域で古くから続く伝統芸能を守ります。



2025年開催日：9月13日(土)、14日(日)
開催場所・主催：貫井神社

貫井神社例大祭

10

境内に住んでいると言われる白蛇を見ると幸せになれるという伝説のある貫井神社。拝殿内の白蛇の絵は、一見の価値あります。

例大祭は、まさに「ザ・日本のお祭り」。地元グルメが楽しめる露店、金魚すくいや射的などが、お祭り気分を盛り上げます。闇が濃くなれば、いよいよ山車の巡行がスタート。



見事な彫刻が特徴的な山車の上で繰り広げられるのは、地元で受け継がれてきた祭ばやし(貫井囃子)と奉納舞。夜空を彩る約百発の打ち上げ花火を見るなら、境内がベストスポット。

市杵島神社秋季大祭

11

2025年開催日：9月13日(土)、14日(日)
開催場所・主催：市杵島神社

住宅街の奥まった場所にある古社の秋季大祭は、「昔ながらの神社のお祭り」を楽しめると大人気。露店あり、自由に叩ける太鼓あり、地元出身のアーティストによる大道芸もありと、まさに楽しき盛りご盛り！



前原盆踊り大会

15

2025年開催日：10月4日(土)
開催場所：野川緑地公園
主催：前原坂下商店会

コロナ禍などの影響で途絶えていた前原盆踊り大会が有志によって復活します！小さな公園にステージを組み、みんなで踊ったり歌ったり。地域の大人が子どもたちの思い出づくりに力を合わせます。



写真は2019年開催時

貫井坂下納涼盆踊り大会

6

貫井けやき公園で毎年開催される盆踊り大会。今年で52回を数える伝統のお祭りは、地元の3つの自治会が合同で主催し、地域に愛されて長年続いています。

小金井市の無形文化財に指定されている貫井囃子や太鼓の演奏が、檣の上で華やかに繰り広げられ、みんなが参加する踊りの輪が広がっています。夜には花火が夏空を彩り、会場のからは歓声が上がります。

焼きそばやかき氷、りんご飴などの夜店も地元有志で出店。子ども向けのプレゼントもあり、地域のつながりと温かさを実感できるお祭りです。



2025年開催日：8月9日(土)、10日(日)
開催場所：貫井けやき公園
主催：貫井坂下自治会連合会

小金井薪能

13

2025年開催日：9月23日(火・祝)
開催場所：小金井 宮地楽器ホール
主催：小金井薪能

能楽師・津村禮次郎氏を中心に毎年夏に行われ、今年で47回を迎えます。能、狂言だけでなくモダンバレエや太鼓、チェロなどとコラボレーションした庄巻の創作舞踊がみどころ。今年世界的舞踊家の森山開次氏が演出・振付けを手掛け、出演します。



写真は2024年の講演

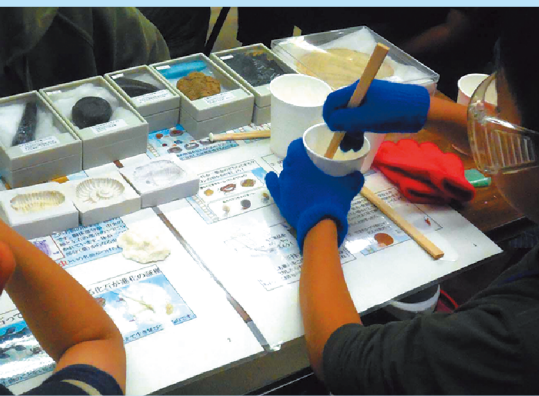


モッコくん

毎年、夏休みに開催されている小学6年生以下を対象とした木工の工作コンテスト。基本材料の「木工キット」と地域の商店等が提供する廃材をもとに作品を作り、エントリ。作品の展示と表彰式は、小金井宮地楽器ホールで開催。

2025年開催日：7月1日キットの販売開始、8月24日作品受付、25日～29日作品展示、30日表彰式
開催場所：小金井宮地楽器ホール(作品展示・表彰式) 主催：木工チャレンジ実行委員会

夏休み 木工チャレンジ



アンモナイト化石のレプリカ作り

ガリレオ工房名譽理事長の滝川洋二先生によるサイエンスライブショーをきっかけに始まり、市民の要望で発展。今回で20回となります。約40もの実験や工作のブースが並び、市内小中学生の自由研究を、市内三大学の先生方が審査表彰するイベントも開催。子どもたちが科学の不思議に出会い、体験からその楽しさを実感できます。

2025年開催日：9月21日(日)
開催場所：東京学芸大学
主催：「青少年のための科学の祭典」東京大会in小金井実行委員会ほか

青少年のための 科学の祭典 東京大会 in 小金井

親子で楽しむ

学び&イベント

子どもたちの学びにもつながるイベントや親子で参加できるお祭りをご紹介します！



2025年開催日：8月2日(土)、3日(日)

開催場所：江戸東京たてもの園

主催：東京都、江戸東京たてもの園(公益財団法人東京都歴史文化財団)

※江戸東京たてもの園の入場には観覧料が必要です

夜間特別開園 たてもの園 下町夕涼み

昭和の下町風景の中で夏の夜を楽しむ、情緒あふれるイベントです。提灯に照らされた園内では、大学生の寄席や怪談、縁台将棋や伝統工芸の実演など、懐かしくもわくわくする企画が盛りだくさん。毎年大人気の「ちびっ子縁日」やこども神輿に加え、今年は「北斎漫画」の妖怪

たちがパネルで登場する「お化け(がわかる)屋敷」も！日本の伝統の怪異について理解を深めることができます。

下町の商店が特別に開店するほか、キッチンカーなど屋台グルメも充実し、ミストシャワーや風鈴の涼しげな展示も夏の雰囲気を感じ上げます。

はけのおいしい朝市

2025年開催日：9月7日(日)

開催場所：丸田ストア 主催：はけのおいしい朝市組合

はけ(国分寺崖線)周辺の豊かな自然の魅力を伝えようと、小さなお店が集まり2009年に始まった朝市。珈琲屋台や手作りのフード・焼き菓子、季節の花やオリジナル生活雑貨・陶器のアクセサリなど、趣味の良い品々が並びます。現在はムラコシ精工の駐車場などで年3～4回ほど開催。



道草市

2025年開催日：年に8回ほど開催

開催場所：市内各所 主催：各道草市実行委員会

市内にある空き地や公園などの「間」を活用し、交流の場にしようと始まった道草市。大道芸やキッチンカー、野菜の即売会、手作り雑貨の販売などを通して、多様な交流が生まれています。今後、梶野町道草市(7/6、11/30@長昌寺)、貫井道草市(10/4@貫井けやき公園)が開催予定。ほかに本町住宅公園でも開催。



2025年開催日：

11月22日(土)、
23日(日・祝)

園内の樹木が色づき始める頃、木々と歴史的建造物をほのかな光で照らし出し、深まる秋の夜の情景を楽しんでもらおうと2010年から始まりました。紅葉の色や大木の存在感、建物の奥行きなどが光を当てるこ

とで際立ち、幻想的な風景を生み出します。

昔のあかり道具の展示やワークショップなど歴史や建物が学べる催しを実施。民家の囲炉裏や暖炉にも火が入るので、あたたかなあかりを体感できるのもみどころのひとつです。約1000個のキャンドルがゆらめく広場では温かい飲み物や軽食を提供する地元キッチンカーが登場。情緒あふれる雰囲気の中で歴史や自然が楽しめます。



夜間特別開園 紅葉とたてものライトアップ